

令和元年度 下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会（第1回）
議事概要

日時：令和元年9月18日（水）15：30～17：30

場所：TKP 新橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム 13B

議事概要

（今年度の検討会の進め方について）

- 昨今の社会情勢の変化や現時点での検討状況を踏まえ、ロードマップの見直しが必要。

（破碎回収一体型（B aタイプ）の実証試験等実施における基本的な考え方（案）について）

- 現在の知見の範囲でとりまとめた暫定版として公表すべき。
- 今後の検討で本考え方のリスクが明らかになった際には、本検討会の場で審議すべき。
- 暫定の目幅として定めた0.3 mmという数字の根拠をもう少し示す必要がある。
- 装置メンテナンス時の排水から、一度回収したSS分が流出しないよう注意を促すべき。
- 装置の使用者や設置者又は下水道管理者が、本資料に適合した装置かどうかなど、煩雑な判断を行う必要がないようにすべき。
- 下水道管理者が規制すべき物質が含まれていないことが確認できるよう、紙オムツ分離装置から排出される排水の水質分析結果を盛り込んでどうか。
- 紙オムツ分離装置の利用によって、下水道施設が受け入れる下水の水質だけでなく、汚泥量が増加することも考えられる。増加量が顕著な場合には、その点も考慮されたい。
※（事務局補足）検討の前提として、既存施設の余裕の範囲内で受け入れることとしている。
- Aタイプガイドラインと同じ記述ではあるが、「塩化物イオン濃度が1,000 mg/L以下となるように添加量を設定することが望ましい」という表記は、「求める」のほうが適切。
※（事務局補足）Aタイプのガイドライン案も併せて今回の指摘・意見を反映する。
- 紙オムツ処理装置により分離され、回収された紙オムツがリサイクル可能であるということを示すことができれば、より装置の普及につながるのではないかと考える。

（社会ニーズ把握に向けた調査計画について）

- 子育て層の外出アンケート結果を見ると、大型ショッピングモールや高速道路サービスエリアのような場所で介護施設に匹敵するニーズがあると思われるため、このような子育て層が集まる施設・業界を対象とする調査にも期待する。
- 介護分野だけでなく育児分野からも関心を持たれているということなので、是非、保育園もヒアリング対象とされたい。
- ユーザーの目線では、A、B aタイプと、B b、Cタイプの処理装置とで使い勝手が異なるものと思われるため、調査に当たっては本検討会で審議したA又はB aタイプを対象とすることを明示すべき。

（その他）

- Aタイプの現場実証は3月に名古屋市内の介護施設で実施した。これを踏まえた試験装置の改良を経て、年内に同施設で再実施する予定。
- B aタイプの現場実証は、10月以降に福岡市内の介護施設で実施する予定。

以上